



*『ジャイモシ』ネパール語で「主(神)を讃美しましょう」の意

ブリッジズ・フォー・ネパール(BFN) の発足にあたって

日頃は、NPO 法人 ブリッジズ・フォー・ネパール(BFN) へのご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。会報「ジャイモシ」の創刊号をお届けできますことは、私どもにとりまして、大きな喜びです。

BFNは設立趣旨にありますように、「キリスト教の愛と奉仕の精神に基づき」ネパールの子供たちに対する里親制度を中心とした教育支援事業に取り組んでおります。

ネパールにおきましても、生活インフラは徐々にではありますが向上して来ています。しかし、いまだ全体的には貧困の中にあると言わざるを得ません。その中でも貧富の格差が拡大している現実があり、また、都市部と地方部の格差、男女間の格差、法律的には廃止されているにもかかわらず厳然として存在するカースト問題等、一朝一夕では解決することが困難な様々な問題を抱えています。

子供の教育に関して言えば、第5学年(日本の小学5年生に相当)までは、無料で公立学校で教育を受けることはできます。しかし、教育に対して、いまだ十分な理解を示さない家庭も少なくありません、また公立学校の数も十分でなく、しかも教育レベルの低さによって、思うようには教育の成果が十分に現れておらず、教育の多くを外国からの支援による私立学校に頼らなければならないのが現状です。

しかしながら一方で、ネパールにおける食糧事情は悪くなく、少なくとも他の多くの貧困国に見られるような飢餓の状況にはありません。また、世界遺産エベレスト(現地名サガルマータ)国立公園を始めとするヒマラヤ山脈等、美しく豊かな自然を抱える国でもあります。十分な教育を受けたリーダーが育成され、自然との調和のとれた適切な開発が進められれば、この国の将来は大きく開けていくことでしょう。

BFNは昨年4月に設立したばかりで、まだまだ力足らざるものに過ぎません。また、BFNがネパールの子供たちに対してなし得ることも、ほんのささやかなことかも知れません。しかし、皆様から託された熱い思いをネパールに届け、ネパールの将来を担うべき子供たちを、教育を通して育成するお手伝いをしていきたいと願っておりますので、皆様のお力添えをよろしくお願い申し上げます。

皆様に、神の祝福がありますように。

特定非営利活動法人ブリッジズ・フォー・ネパール
理 事 長 鬼 頭 勝



目次:

ブリッジズ・フォー・ネパール(BFN)の発足にあたって 1

ネパール支援の必要性について 2

プロ・エデュケーション・ネパール(PEN)の役割について 2

BFNの主な支援校ニュー・ホライズン・アカデミー・スクールの略歴 2

質問箱 3

ネパール豆知識 3

支援者申込状況 4

新規に支援される子供たちの名前 4

BFNの中・長期目標 4

BFNからの感謝とお願い 4

ハイライト:

BFN主催

ネパール・スタディ・ツアーを実施
(2008.11.6~11.18)

参加者:8名

ニュー・ホライズン・アカデミー・スクールの訪問

(2ページに写真を掲載)

NPO法人 ブリッジズ・フォー・ネパール (BFN)

事務局: 〒569-0811 大阪府高槻市東五百住町3丁目1番4号 (理事長宅)

Tel/Fax 072-695-0513

URL: <http://www.npo-bfn.org>

ネパール支援の必要性について

ネパールはGNPが250ドルと、世界10大貧国に入り、また私たちの住むアジアでは最も貧しい国です。ネパールでは、貧しさゆえに、教育を受けたくても学校に通うことのできない子供たちがたくさんいます。ニュー・ホライズン・アカデミー・スクールは、そのような子供たちに教育を受ける機会を提供するために、始めました。彼らが神様を知り、正直・誠実を学び、未来を諦めず、一生懸命学び、未来のネパールにおける立派な指導者になることができるように育成するのがニュー・ホライズン・アカデミー・スクールの目的です。どうか、ネパールの貧しい子供たちに、明日という希望を植えてくださいますようお願いいたします！



ニュー・ホライズン・アカデミー・スクール 理事長 チェ・クンミン

プロ・エデュケーション・ネパール(PEN) の役割について

ネパールでは識字率が47%と、その教育環境は非常に劣悪な状況です。しかし、教育なくしてはネパールの未来はあり得ません。そこで、ネパールの明るい未来のために、教育の発展に微力ながら寄与するために、NGO法人PENを設立し、活動しています。

単なる無償支援は、一層の怠惰を招き、また他人の助けを当てにし、かえって継続的な貧困を誘導させるものとなります。そこで、我々PENは、寄付活動と共に、単純な支援ではない、“啓発”のための様々な活動を行っています。皆様の愛のご支援がネパールの子供たちの未来を助けるものとなっているのです。



NGO法人 プロ・エデュケーション・ネパール 理事長 ビル・バドル

BFN の主な支援校 ニュー・ホライズン・アカデミー・スクールの略歴

2001年1月設立 (ネパール教育部許可 123/057/058) 設立者 サヌ・シュレスタ

校長 クリスマソマイ 教頭 コモル フォカレル 現在、幼稚園-10学年まで認可 現在学生数620名



幼稚園児の英語の学習 (2008.11.12 訪問時撮影)



教室風景 (2008.11.12 訪問時撮影)



社会科の学習「勤労の大切さ」 (2008.11.12 訪問時撮影)



生徒たちと一緒に (2008.11.12 訪問時撮影)

質問箱

質問 「貧しい子供たちをどのような基準で選んでいるのですか？」

回答

現在、学校に通っている子供たちは、とても貧しい家の子が多いのです。それでも家計を切り詰めて学校に行かせています。しかし学業を続けられなくて、1学年を途中で辞める子や、来年の進級を断念する子供たちがいます。学校では、授業料免除を受けたい子に申請書を提出してもらいます。申請書には兄弟、家族、成績、経済状況、親の職業、好きな科目、将来の夢と言った項目があります。このような子供たちや親と直接面接し、リストを作成します。この子供たちリストをPENに提出し、PENからBFNに支援の依頼が来ます。そして困窮度の大きい子供たちから支援をして行くこととなります。



質問 「里親は子供たちについて希望することができますか？ たとえば、幼稚園児の男の子を希望とか、6歳の女の子を希望とか。」

回答

貧困家庭の子供たちはとても多いです。ある程度希望にそえることが出来ると思いますが、絶対ではありません。あくまで困窮の程度に応じて、里親になって頂くことにご理解ください。

ネパール豆知識（これって知ってた？）

○ 世界最高峰の山々の多くがネパールにある。

世界の最高峰の山々を8000m峰と言い14座（山を数えるのに使う）あります。すべてアジアのカラコルム山脈とヒマラヤ山脈にあります。ネパールにはそのうちの8座があります。エベレスト(8848m)、カンチェンジュンガ(8586m)、ローチェ(8516m)、マカルー(8463m)、チョ・オユウ(8201m)、ダウラギリ(8167m)、マナスル(8163m)、アンナプルナ(8091m)です。

○ エベレストの名前は3つある。

世界で一番の最高峰はもちろんエベレスト、この山はチベット(現在中国領)とネパールの国境にあるので、それぞれの国で違った名前と呼ばれます。中国ではチョモランマ(大地の女神の意)、ネパールではサガルマータ(大空の頭の意)と言います。ではどうしてエベレストと呼ぶのですかって？ 実はヒマラヤ山脈を測量したイギリス人ジョージ・エベレスト(1799-1866)に因んで命名されたので、この山を西洋人はエベレストと呼ぶようになったのです。

○ エベレストに初めて登頂した人は二人いる。

エベレストは1953年5月29日イギリス人エドモンド・ヒラリーとネパール人テンジン・ノルゲイによって初登頂され



左中央がエベレストです。

ました。ネパール人も一緒に登頂していることを忘れないでください。

○ 女性で初めてエベレストに登頂したのは日本

1975年(昭和50年)に田部井淳子が女性として初めて登頂に成功しました。

日本人としては1970年(昭和45年)5月11日に松浦輝夫と植村直己によってエベレスト南東稜からの登頂に成功しました。1982年(昭和57年)12月27日に加藤保男が厳冬期エベレストに登頂(東南稜)という偉業を成し遂げましたが、残念ながら帰路にて遭難しました。

支援者申込状況 2008年度（4月～12月）中間報告

12月31日現在

区 分	人数・件数	金 額	備 考
賛助会員	48名	月額 2,500円	
スポット支援	23件	346,500円	

*年度は、会計年度とする（4月から翌年3月まで）。

新規に支援される子供たちの名前（4月（開始）～11月）

氏 名	性別・学年	氏 名	性別・学年	氏 名	性別・学年
サリナ・シレスタ	女 4年生	ブラサンナ・サンガチエッチ	男 2年生	アリシャ・マハリヤン	女 4年生
アシエシャ・マリ	女 4年生	ビダタ・タパ	女 3年生	ビライ・アルヤル	男 5年生
ヒシラ・マハリヤン	女 2年生	リシャブ・マハリヤン	男 1年生	シリヤナ・バンダリ	女 1年生
アシミタ・シレスタ	女 1年生	リヤ・シレスタ	女 1年生	ブラモド・ドゥンガナ	男 4年生
プラナヤ・ポカレル	男 6年生	ラクシミ・チエトリ	女 3年生	シャマ・マハリヤン	女 3年生
ラシラ・マリ	女 3年生	ライ・クマル・シレスタ	男 1年生	ハシナ・シレスタ	女 2年生
スリヤナ・タパ	女 4年生	ジョッチ・タパ	女 7年生	アマン・タクル	男 3年生
サミル・グルン	男 3年生	チラク・ラナ	男 3年生	ハリ・ドゥンガナ	男 3年生
サチン・マハリヤン	男 幼稚園児	ムンナ・ロッカ	女 1年生	ディケシ・ライ・バハク	男 4年生
サニシュ・デシャル	男 1年生	サミクシャ・ライ	女 幼稚園児	リツ・マハリヤン	女 幼稚園児
ブハラツ・グルン	男 1年生	スディーブ・カデュカ	男 1年生	プラチブハ・ミシャラ	女 幼稚園児
シーズン・プリンドゥー・ラナ	女 幼稚園児	アトミック・タパ	男 1年生	ガンガ・マハリヤン	女 幼稚園児
スマン・デシャー	男 幼稚園児	クリチ・タパ	女 幼稚園児	ビシャル・パルヤー	男 幼稚園児

BFNの中・長期目標（5カ年計画 2008年～2012年）

	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	備 考
賛助会員	50名	100名	150名	200名	250名	累積数
設備費	10万円	20万円	30万円	40万円	50万円	単年度

BFNからの感謝とお願い

NPO法人ブリッジズ・フォー・ネパールを設立して早9ヶ月になります。今までただ神様の恵みと導きの中で活動を続けてこられました。特に賛助会員やスポット支援の皆様方に深く感謝とお礼を申し上げます。2008年度の目標もあとわずかです。しかし、大不況の到来を感じさせる今日にあっては中・長期のビジョンを実現するための努力と支援が今まで以上に必要となります。ネパールの子供たちの笑顔を覚えつつ、小さな橋を一本でも多く築くように力を尽くしたいと願います。



皆様方の暖かいご協力とご支援をこれからもよろしくお願い申し上げます。

なお活動記録の詳細はBFNのホームページ(<http://www.npo-bfn.org>)をご覧ください。